



花上きよし市政レポート

2024年6月(第519号)



アートフェスタ瀬谷が開催 瀬谷区を芸術、文化の香り高い街に！



▲2021年には区美術協会の方々と植木八千代区長を訪問し、意見交換

初の「アートフェスタ瀬谷」が5月21日から27日まで瀬谷区民文化センターあじさいプラザで開催。これは横浜美術館などで開会中の「横浜トリエンナーレ」の一環として開かれるもので、私が会員の瀬谷区美術協会が企画・共催を担い、地域における芸術・文化の発展につながることを期待されます。

瀬谷区は公募型の「瀬谷区美術展」が30年近く開かれるなど、区民の方々の創作活動が盛んな地域。横浜市会の芸術・文化議員懇談会に所属する私も同展に出品してきました。

2021年には同展実行委員会を前身とする区美術協会が発足。2022年に開館したあじさいプラザのギャラリーなどを会場に多彩な美術イベントを開いています。

市内の芸術・文化をより醸成するためには各区における活動を活発化させる取り組みが必要で、私は市会で提言してきました。

今回の「アートフェスタ瀬谷」も、地域の方々が芸術・文化に関心を持つ大きなきっかけになります。



▲花上議員の作品を前に宮崎会長と

花上街かど調査隊の陳情実現 枯れ葉対策で防護ネット

地域の方々から、隣接する森林公園から大量の枯れ葉が舞い込み困っているとの陳情が寄せられました。

早速、花上市議が瀬谷土木事務所に対応を求めたところ防護ネットが張られました。

住民の皆さんから感謝の声が寄せられました。



▲防護ネットを設置



横浜市議員

かわら版瀬谷 花上きよし市政レポート

2024年6月(第519号)

花上きよし事務所 ☎(363)9749
瀬谷区三ツ境174-37

山中市長と共に、大都市制度改革に取り組む 「特別市実現」で県と市の二重行政解消へ

横浜市議員 花上喜代志



▲本を出版特別市の必要性を
訴えた花上市議

2023年度の横浜市民意識調査の報告書が発表されました。横浜市が目指す新しい大都市の枠組み「特別市」（特別自治市）については、「全く知らない」が6割を超えるなど認知度の低さが浮き彫りになりました。

「特別市」は横浜市と神奈川県との二重行政、不十分な税制上の措置といった課題を解決するための制度です。

国以外の仕事を原則として市が担い、その役割と業務に応じた税財源を確保。

区の前算・裁量の拡充、区長の権限強化、住民協働・参画の推進などにもつながります。

私はかねてから明治維新の廢藩置縣に端を発する都道府県制度を見直し、時代に合わせた地方分権の必要性を訴えてきました。

特に横浜市の人口は静岡県や四国4県を超える規模で、きめ細かい行政サービスが求められています。

意識調査によると、特別市を「よく知っている」「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と答えた人はそれぞれ1.1%と6.4%「聞いたことはあるが、内容は良く知らない」という人は28.7%でした。

若くなるほど「全く知らない」という層が多くなっています。

横浜市は2024年度、特別市実現に向けた取組推進のために1700万円を計上。

国などに働きかけるほか、市民向けの説明会や新しいプロモーションツールの活用など広報・PRに取り組む予定です。特別市を実現するには、市民レベルの機運を高めていかなければなりません。

私も山中竹春市長とともに、推進に注力していきます。

横浜に「すもう場」ができます！

4月8日、横綱照ノ富士関が山中竹春横浜市長を訪問「横浜市にすもう場（土俵）を寄贈したい」と伝えました。

横浜武道館振興議員連盟会長の花上市議はかねてより横浜市相撲連盟から要望を受けていた「市内にすもう場」が実現することになり、大変喜んでいました。

場所は、日産スタジアム横の「新横浜公園に整備」される予定です。



花上喜代志横浜市会議員が全国市議会議長会より 「在職45年表彰」を受賞!!

花上市議は令和6年5月28日、横浜市議会で鈴木太郎議長より表彰状を授与されました。

横浜市会の歴史上、45年在職は初めてとなり、本会議場で報告され、満場の議員から拍手を受けました。

山中竹春市長からも市長室で温かい祝辞を頂きました。

花上市議は受賞後「横浜市議在職45年を迎えることができたのは、ひとえに選挙区の瀬谷区の皆様を始め、多くの方々のご支援とご協力のお蔭様で、改めて皆様に心から感謝致します。今後共横浜市政の発展のため、山中市長と共に引き続き全力で頑張っ

▼山中竹春横浜市長

▼鈴木太郎横浜市会議長

